



いちほまれ速報 No.7

【生育調査状況と今後の管理情報】

J A 福井県 福井基幹支店
福井農林総合事務所
福井地区いちほまれ研究会

● いちほまれ出穂!! カメムシの適期防除をお願いします。

1. J A 生育調査状況 (7月14日現在)

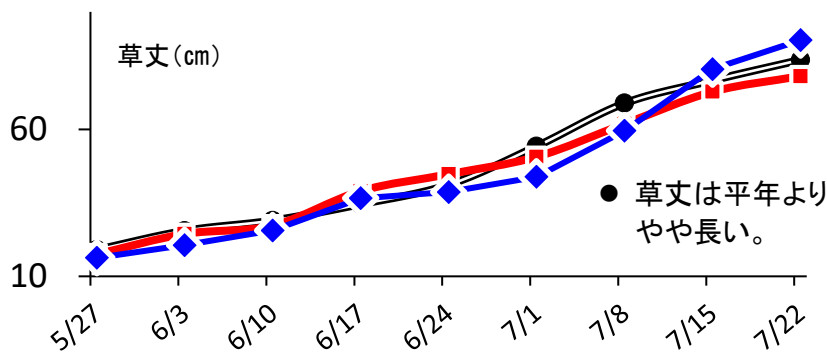
栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m ²	葉令	葉色
移植	R3	-	90.4	412.7	12.1	4.1
	R2	-	78.1	400.8	11.9	4.0

7月中旬以降の高温・多日照の影響で「いちほまれ」は平年よりやや早く出穂期を迎えようとしています。今後、カメムシ類が水田内に侵入する量も増えてきますので適期の防除をお願いします。また、高温が続いているため、圃場も乾きやすくなっています。定期的な入水を心掛けましょう。

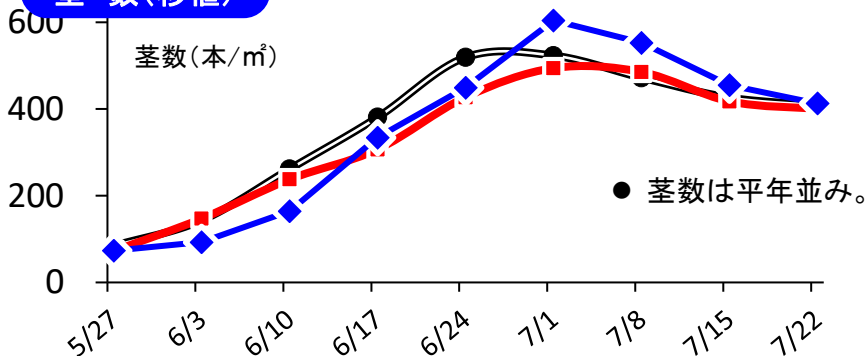
2. 茎数の推移と今後の管理

草丈(移植)

● 平均値 H29~R2 ■ R2 ◆ R3



茎数(移植)



今後の管理について

移植・直播

- 間断通水の管理の継続をお願いします。(3~5日に一回の入水を実施し圃場の湯きすぎに注意してください。)
- 間断通水は収穫直前まで実施しましょう。早くからの完全落水は登熟不良を招き収量・品質の低下につながります。

斑点米カメムシ類の防除

- 防除は適期を逃さず2回実施しましょう。
- 1回目: 穂揃い期(出穂3~5日後頃)
- 2回目: 糊熟初期(出穂10~14日頃)
- ※8月下旬頃にカメムシの発生が多い場合は仕上げ防除(3回目)を行いましょう。



■ アカスジカスミカメ ■ クモヘリカメムシ

区分	薬剤名	収穫前日数
粉剤	スタークル粉剤DL	7日前
	ダントツH粉剤DL	7日前
	トレボン粉剤DL	7日前
液剤	ダントツフロアブル	7日前
	スタークル液剤	7日前
	トレボンスターフロアブル	14日前

3. 作業のポイント

収穫直前までの水管理

- 出穂後は、足跡に水がある程度の水分が必要です。但し3日以上以上の湛水は、根の活力が低下し根腐れの原因になるのでやめましょう。
- 出穂期から刈り取り直前までは、田や天候にあわせた間断通水が続けましょう。

間断通水で
乳白粒・未熟粒の防止!!



【乳白粒】



【未熟粒】